WEEKLY REPORT GUJYO NAGARAGAWA ROTRY CLUB

持続可能なインパクトを生み出そう

RI会長メッセージ

D２６３０郡上長良川ロータリークラブ

2026.7～2027.6　会長：美谷添里恵子　副会長：小島正則　幹事：遠藤正史

第49期クラブメッセージ

「共に生きる　共に創る」

思いやり溢れた素敵なクラブに

例会日：毎週水曜日18：30~（6~9月末19：00~）
例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター２F
TEL：0575-82-3822　FAX：0575-82-5191
E-mail：gsrc@abelia.ocn.ne.jp
発行：クラブ会報委員会

第2245回　令和8年9月16日（水）

本日の行事　　ガバナー公式訪問・IM

第２２４４例会報告

■会長挨拶　　2026-27年度　美谷添里恵子会長

先週から秋雨前線と台風からの熱帯低気圧の影響で、東海地方にも線状降水帯が発生し、豪雨が続いています。被害が出ないことを祈るばかりです。

今月のロータリーの友でRI会長は言っています。「ロータリーは常に人を大切にしてきた。2030年の創立125周年までに125万人の仲間を増やそうと目標を掲げています。自分はロータリーを通じて何十年続く友情と、自分が求めていたことすら気づかなかった生きがいを得ることができた。誰かが声をかけさえすればロータリーで真の生きがいを見いだせる人がいます。ロータリー活動で自分がどんな人間になったか、ぜひ話して仲間と共に最高の年にしましょう。」と、とてもわかりやすいメッセージでした。また9月の月信は主にガバナー公式訪問の報告でした。7月16日は熊野・尾鷲、7月27日は松阪３グループの公式訪問の報告でした。来月は我がクラブの報告が掲載されるでしょう。

次の話題はツバメの渡りについてです。毎年春になると、我が家の車庫の軒下に一生懸命巣作りに励むつがいがいます。今年も帰ってきたのかと、声をかけ励ましていましたが、3回ほど挑戦しましたが、完成間近に他の鳥に巣を壊されたり、せっかく卵を産んでも落とされたりと苦難が続いていました。もう諦めたかと思っていたら、なんと3度目に巣作りを成功させ、元気なヒナ４羽を育てていました。時々かわいい顔を見せてくれました。子育て真っ最中は、食欲旺盛なヒナたちのために親鳥はせっせと餌を運んでいました。おかげで巣の下は糞だらけです。毎日掃除をしながら子育てを応援してきました。

その後3週間ほどですっかり成長した子ツバメたちは、飛行訓練をして、あっという間に飛び立ってしまいました。その後ツバメたちはどうしているのかと気になっていました。巣を飛び立ってからしばらくは毎朝家の上に通っている送電線の電線のうちの１本に端から端までびっしり、何百羽ときれいに並んでいます。あの中にきっと加わっているんだろうと、嬉しく思っていました。そして夜になると町内の低い電線に並んで夜を明かしています。不思議なことに毎年その電線の場所が変わります。一体誰か指揮しているのやら、そのうちに一斉に姿を消してしまいました。

どこまで行ったのかと思いを馳せていましたら、新聞に「ツバメたち長良川河川寝ぐら入り」と言う記事が出ていました。秋に南方へ渡る前に、長良川の河川敷で一休みして、よし原で集団で夜を過ごしているそうです。蛇やカラスなどの外敵から身を守るためと情報交換のためとも言われているそうです。

私のように巣立った後の行動を気にしている人がいて、ツバメの行動を調べ、河川敷のねぐらで過ごすツバメたちを確認したそうです。気温の低下とともに今月中には越冬地の台湾やフィリピンへ旅立つそうです。でも今年の暑さは越冬地への足が遠のき、いつまでも日本で過ごすかもしれません。ツバメの渡りにも温暖化の影響が出てくるかもしれません。この異常な高温で、子育てが遅れてまだ白鳥に残っているツバメも気になっています。毎年ツバメが子孫を残しながら渡り続けていると言う姿が、人とのつながりや世代をつないでいると言うことで、学ぶこともありそうです。

■クラブラーニング「補助金活動について」　　R財団担当委員長　山口里美君

国際ロータリーとロータリー財団は違います。我々が在籍するところは国際ロータリーですが、ロータリアンの寄付金によって、ロータリー財団は成り立っています。

私事ですが、品川に行く用事があって品川に泊まったのですが、次の日に時間がありましたので、港区にある日本事務局にお伺いしました。目の前に東京タワーが見える素晴らしい所で、三田国際センタービルの24階に国際ロータリーとロータリー財団がございました。国際ロータリーの事務局から入ったのですが、

出てきたのはロータリー財団の方で、2 つ入り口がありました。別々に分かれてるということは、やはり国際ロータリーとロータリー財団は違うという意味も含めて、ドアも入り口も違うんだなということを感じてきました。

ロータリー財団の補助金のことについて少し勉強をしていきたいと思います。

地区補助金小委員会に出向しています委員の山口です。資料を見ていただくと、寄付金の流れとその金額、システムの図があります。

初めての方も見えますので説明させて頂きます。皆さんの寄付金は 3 年後、大半は地区財団活動資金、DDF としての助成金になって返ってきます。一番上は皆さんの寄付金、一番下は皆さんが使うことができる補助金です。

補助金の財源である財団への寄付は、2 種類あります。年次基金寄付金の半分と、恒久基金寄付の収益の半分が地区で利用できる補助金の財源となります。ポリオプラス基金寄付は地区の補助金の財源ではなく、ポリオ根絶のためだけに使用されます。

皆さんからの年次基金寄付は、まず全て 3 年間財団で運用されます。そして 3 年経つと、その元本は全て補助金の原資となります。恒久基金は毎年運用され、その運用益の 50%が補助金の原資として加えられます。そうして作られた補助金の原資は、50%を地区財団活動資金、DDF として地区に戻します。地区はその DDF の 50%を地区補助金として使うことができます。

DDF の残りの 50%は、グローバル補助金、またはグローバル補助金の奨学金、職業研修 VPD として使うことができます。グローバル補助金は、3 万ドル以上の事業で、DDF の申請額に、国際財団活動資金の WF が 80%上乗せされます。

大変乱暴に要約しますと、皆さんの年次基金寄付の大半は、3 年後に地区やクラブが使用することができる補助金の原資になっている、このことをご理解ください。その中でも地区補助金について、もっとイメージしていきたいと思います。

地区の 2026 年 7 月 1 日時点の会員数は 2952 名です。1 人あたりの年次基金寄付額の目標は＄150 ですので、年次基金は＄44 万 2800 となります。年次基金の 50%が 3 年後に DDF になります。＄44 万 1800×50%で＄22 万 1400、これが 2029 年～30 年頃に地区へ戻る DDF の目安となります。地区補助金に使えるお金は、年次基金寄付の 25%とされておりますので、＄44 万 2800×25%は＄11 万 700 となります。

したがって、地区補助金の予算は約$11 万と推計します。年次基金寄付が＄44 万 2800、DDF が＄22 万 1400、その半分の地区補助金は＄11 万 700 となっておりまして、実際円換算しますと、この＄11 万 700 は約 1800 万円になります。

ここまでは 1 人当たりの年次基金の目標額＄150 を達成した時の、地区補助金額のイメージでした。実際にこの金額は、使われているかといいますと、2630 地区には 73 クラブありますが、活用しているクラブは約 3 割です。

何故 3 割にとどまっているのか、財団の委員会のイメージとして、このような声をよく聞きます。「財団委員会の審査が厳しくて、なかなか通してもらえない。」「ルールが細かくて、手続きが面倒くさい。」「財団委員会に嫌われたら補助金が下りない。」などの噂もあるようです。

すべて噂話です。この誤解を少しでも解けるようお話しできればと思います。

地区補助金小委員会の役割といたしまして、補助金は皆様からいただいたご寄附ですので、公平かつ適正に使用させていただきます。地区補助金小委員会では、皆様から提出された申請書、報告書の内容を適正にチェックし、プロジェクトがきちんと実行できるようサポートいたします。困ったことが起きた場合や、判断に悩む場合は、ロータリー財団部門へ相談をしてください。国際ロータリー財団よりいつ査察に入られても慌てないように、事業終了後５年間は関係書類の保管をお願いいたします。

地区補助金の対象となる事業とはどのような事業かを説明いたします。地区補助金は、クラブの所属する地域でも海外でも、人道的プロジェクトもしくは奉仕プロジェクトに利用できます。そして奨学金にも使用できます。繰り返しになりますが、財団の使命に関連していることが必要です。ロータリークラブが実施する奉仕プロジェクトはこれに該当すると思います。自信を持って申請してください。そして、ロータリーに対する地域のニーズを掘り起こす事業に、地区補助金を利用してください。

事業を実施するにあたり、この 8 点に十分ご注意ください。

1. 単なる物品の寄贈が含まれる。これは申請の段階で修正をお願いすることとなります。2. 他団体が開催する事業の補助的支援のみとなった場合。是非主催として事業を行ってください。
3. 実施事業を勝手に追加、変更した場合。事前に委員会へご相談ください。
4. 領収書のない支出。支出金額を確認できない場合。ルール上どうしても必要です。ちょっとしたお礼なので領収書がない場合は、補助金報告に記載せずクラブ会計で処理をしてください。
5. 予算を消化できなかった場合。これは予算を余らせるという意味ではなく、事前の相談なく事業内容を変更することはできないという意味です。
6. 恩恵を受けるもの、受益者にロータリー関係者が含まれる場合。　例えば事業の中に物品の購入は含まれ

ており、その物品をロータリークラブが所有する、使用するという記述があれば、修正をお願いします。
7.〇〇周年記念事業。あくまで地域のニーズを掘り起こし、事業を計画する前提ですので、周年だから行うという理由ではないという考えのためです。
8.特定の団体に対する継続的または過度の支援を行うこと。たまたま 2 年連続はあるかもしれませんが、3 年目は修正をお願いします。申請書は問題なかったのに報告書の中に問題がある場合、補助金の返金が必要です。補助金報告が承認されるまで、次の年の地区補助金が地区事務所に振り込まれませんので、どうかご注意ください。

地区補助金の支給額の計算です。2025 年、26 年の事業であります白鳥おどりフェスの申請書が 2 枚ございます。さらに、年次基金寄付の傾向この補助金の 2027 年事業として計上されています。これにはあります。さらに、この資料白鳥おどりフェスを行った事業の 2 枚目をみていただくと、この事業の補助金限度額算出基準は、3 年前の 2022- 23 年の一人当たりの全年次寄付額、＄151.58 になりますので、2630 地区補助金支給額の計算に当てはめますと、3 番にあたります。EREY＄150～＄200 未満の場合という式に当てはめたのがクラブ拠出×EREY/100×1.5 となり、＄3734.2×151.58/100×1.5 となりますので、＄8490.46、日本円で 1273、569 円が地区補助金として支給された事になります。
皆様に＄150 以上お願いしているのは、こういった 1.5、1.2 を活用していただきたいという為でもあります。
実際に当クラブはどのように、EREY が出るかと言いますと、年次基金寄付の傾向を見ていただくと、マイロータリーにログインして会員財団に関するレポート、地区の傾向、クラブという風に、順番い入って頂きますと、年次基金寄付の傾向という当クラブの EREY が見ることが出来ます。
EREY はこの達成額＄4699 を会員数 31 名で割りますと、151、2022-23 年は 151.58 でしたので、この年の相当する EREY が白鳥おどりフェスに使われた事になります。
次の年は一人当たりの平均は＄71、次の年は＄132、＄147 と推移しているのが現状です。
実際にグラフを見ていただくと分かるのではないかと思いましてあげさせていただきました。
2027 年 7 月 1 日から 28 年 3 月までに事業を行いたいとなりますと、2027 年 1 月 31 日までに申請する必要があります。
最後に地区補助金担当からのお願いです。申請書と報告書は、同じ担当者が責任を持って提出してください。
白鳥おどりフェスの時は杉山さんに担当していただきましたので、すんなりと行けたと思います。申請段階から綿密な計画を立ててください。申請段階で綿密な計画を立てると、報告段階で申請の段階で修正するということはないですので、実際に白鳥踊りフェスでもあったのですが、途中で変えると言ったことも、私が委員という事もあったので、ねじ込むという形で了承をいただきました。
申請書と報告書の資金管理項目は同じにしてください。地区補助金小委員会で申請内容を検討し、訂正をお願いすることもあります。申請件数が多く、予算が不足する場合は、申請金額の減額をお願いする場合があります。
貴重な地区補助金です。効率の良いプログラムをご検討ください。事業の実施は 3 月末までに終了するよう企画してください。地区補助金について詳しくご説明をさせていただきました。
今年から E ラーニングという形になり、他クラブ訪問という事はなくなりました。せっかく資料をいただきましたので、私も勉強させていただきました。
クラブからの要請があった時は、資料をお渡ししてクラブで見ていただくというスタンスになっています。
ご清聴ありがとうございました。

■ニコＢＯＸ　　ニコＢＯＸ委員会　児玉利明君

美谷添里恵子君　とうとう東海地方も秋雨前線の影響がありました。名古屋市内は帰宅困難者が出たようです。他人ごとではないですね。
畑中知昭君　来週は IM です。よろしくお願いします。
同文　野島征夫君、旭美香君、清水英志君、和田智博君
寺田澄男君　線状降水帯にハマらなくてホッとしました。
和田良一君　長～い、長～い雨降りでした。でも災害がなくて良かったです。なんまいだ～。
小島正則君　加賀行き 9 月 12 日、皆さんお願いします。
松森正和君　日曜日、横須賀で、初めて戦艦と潜水艦を見てきました。迫力があり、感動しました。来週、15 日、16 日と IM よろしくお願いします。
佐藤備子君　9 月 9 日は重陽の節句、今日は孫の 9 歳の誕生日です。
山口里美君　地区補助金使ってみたくなりましたか？使ってみたくなれば、今日のラーニングは大成功です。
井俣愛美君　年に一度の実家に行ってきました。実家（新潟）に行って、娘のいる横浜と 3 日間で 1430 ㎞、車で移動しました。遠いです。
遠藤正史君　9 月になり、大雨で大変です。大きな災害がない事を祈ります。

杉山賢君　来週のオープニングでの披露を前に、雨ばっかりで、全然練習が出来ないと担任が嘆いております。本年度最初の公演となりますので、どうぞよろしくお願いします。
山越俊英君　IMの司会、仰せつかりました。迷惑を掛けないようにし練習して頑張ります。
児玉利明君　　先日、日曜日に、ぎっくり腰になりました。大分よくなりましたが、痛かったです。
北山浩樹君　大雨が続きますね。皆さん気を付けてください。
有井弥生君　雨落ち着いてきましたね。いつ何が起こるか分からないので、日ごろの備え大切ですね。

■行事予定

9月23・30日　休会
10月　7日　外来卓話

■出席報告

出席委員会　山越俊英君

回数	会員数	出席者	休会者	補正	出席率
2243回	29名	20名	1名		71.43%
2244回	29名	22名	2名		81.48%